

秋、真っ盛り！秋と言えば、ずばり「食欲の秋」ですね。ママたち、美味しいものを食べていますか？自分へのご褒美（い〜）やっぱりスイーツかな？それともお肉がっつり？！自分ひとりの時間、自分へのご褒美は絶対に必要です。

「食」について、最近考えることがあります。まのりあに通う子どもたちはとにかく偏食が多い。聴覚や触覚と同じように味覚にも感覚過敏があるので、けっして無理強いしないよう、わたしたちは気をつけています。でも、そういう在りように慣れてしまい、食べられなくてもしょうがない！と食に消極的になってしまいます。

それでホントに良いのだろうか？やっぱり「食べることは生きること」。食育のテーマでもある「食が心を育てる！」という言葉もあります。

そんなことを考え、さんむでは最近、毎回、放果後等デイサービスのプログラムの中に「調理・食べる」ことを取り入れています。お茶碗によったご飯をお箸で食べることから始まり、ぎょうざピザ、ホットケーキ、おにぎり、カップケーキ、焼きそば等々。

目をみはる効果があったのが「ゆでたまご」です。以外と、ゆでたまごを剥いたことがない、ゆでたまごをそのまま食べたことがない子がたくさんいました。子どもたちが懸命に殻と格闘している姿を見て、「療育にひたり！」と感動したものです。そして「自分で剥いたたまごは、やっぱり一口は食べる」のです。

また、こんなこともありました。「はりんこ」のお煎餅を食べない女の子がいました。「星、たべよ」なら食べるかな？とおやつに出したところ、「わたしはお煎餅が嫌いな」と言うのです。その場にいた別のお子さんのママが「〇〇ちゃんお煎餅はお米からできてるんだよ。お米は好き？」とさりげなくひと言。すると「え！お煎餅ってお米からできてるの？わたしお米は大好きだよ」と言い、その女の子は、まのりあに通って2年経ち、初めてその日、「星たべよ」のお煎餅を食べたのです。その一部始終を見て、わたしは驚きのあまり「ええええ〜！！」と絶叫してしまいました。

毎日毎日ご飯を作っているママたちが、毎日毎日お子さんの偏食をどうにかしよう！と考えるのは大変です。ママたちのお手伝いをしているわたしたちが、何かしらのきっかけ、ちょっとした変化をお子さんたちに与えられたら良いなと考える今日この頃です。

美味しいものを食べながら話が弾む、みんなが笑顔になれる、「食べることは心を育てる！」を実感する日々です。

2学期は幼稚園・保育園や学校でも行事が目白押し。楽しく参加できると良いですね。また、以前からお伝えしていますが、幼稚園や学校に行きたくない時、まのりあで楽しく過ごしてください。

おしらせ

保護者へのご参加お待ちしております!!!

① 11月24日(木) みんなでたくさんおしゃべりしましょう

② 11月26日(土) 仕事・子育ての経験から...

時間は両日 10:00~12:00です。

詳しい内容と参加申し込み書は 10月号にのっています

裏もあります

読書の秋♡

と言うことで...

☆ 職員オススメの本 ☆ をご紹介します!



今回紹介してくれるのは 山口ゆかり 先生です。

『子どもは みんな問題児。』

中川 李枝子 / 新潮社

「子どもをよく見ていれば、だいじょうぶ。子どもは 子どもらしいのが いちばんよ。」

著者は絵本の『ぐりとぐら』シリーズの作者である中川李枝子さんです。私が児童発達支援に親子通園していた頃にこの本に出会いました。中川さんの言葉に背中を押されるように一気に読みました。私自身の子どもの頃を思い出し、いろいろなことが下手だったこと、母が私を見てため息をついていたことを「私も例外なく問題児だったということか。つまり普通の子どもだったってことじゃん!!」と開き直って(笑) 自分の子ども時代を肯定できるようになりました。すると我が子の在り方も肯定できるようになっていきました。

今では我が子を愛しい問題児だと思っています。ママたちの待合室・集会室の本棚にあります。興味を持たれた方はぜひ読んでみてください。



ままのりあ

〒252-0324

相模原市南区相武台1-21-5

電話(代表) 046-244-4537

電話(教会内) 046-211-9485

FAX 046-244-4538